



編集 SEF 事務局
 連絡先 03-3669-0499
 URL <http://sef-jpn.org>

巻頭のことば「ヒヨドリの渡り」 **理事 松浦直樹**

10 月の初旬、ヒヨドリの渡りを見に真鶴半島の先端に行ってきました。ヒヨドリは国内では留鳥として、又渡り鳥としての生態が観察されている種です。一斉に南に北へといった行動様式でない処がユニークです。これは陸地から海を隔てた陸地への渡りの出発時にも見られます。岬の先端部の木々の中から鳴き声が騒がしくなってきた数十から 100 羽位の群れが飛び出していきます。塊となって海に出て行くのですが、10 回の内 7-8 回は途中で戻ってくるのです。それも、先頭が回れ右をするのではなく、後方や途中から何となく U ターンを始め群れ自体が戻るのです。群れのリーダーは明確でないのかもしれませんが、こんな状態が朝 2-3 時間続きます。見ていると、今度は行くか？戻ってきたよ！行ってしまったみたいだね 頑張れよ！ といった言葉が出てきます。非常に多様性をもった行動様式がみられる種です。これが彼らの生存能力を高めている DNA かなと感じられる興味深い観察会でした。

こじつけにはなりますが、会社人間でなくなった頃、種々なサークルや団体に顔を出すと同年輩の方達でも多様な考え方に驚かされた経験があります。最近のキーワードの多様性ほどではありませんが、世の中これで巧く廻っているんだと感じることがあります。SEF の事務局業務も手伝いから始め 2 年目になりました。業務も多様化する中、まだまだですが、よろしくお願ひ致します。

10 月度(第 158 回)理事会報告(10 月 26 日)

《第 158 回理事会》	
1. 教育・研修事業チームの活動費の件→可決承認	5. NPO 保険加入証明書受領の件→報告了承
2. マイナンバー運用規定制定の件 →可決承認	6. 総合ハイテック社営業支援業務成功報酬比率の件 →報告了承
3. HP 更新検討経緯と進捗の件 →可決承認	7. SEF サロン H28 前期会計報告 →報告承認
4. H28 年度時事問題研活動支援費の件 →承認(一部残)	

事業報告 コミュニケーション研究会 **担当理事 長本啓壮**

コミュニケーション研究会(通称 コミ研)の10月末現在の陣容は、小泉会員、佐立会員、玉木会員、平田会員、松井会員、長本の6名で、10月末の時点で定例会は通算121回、合宿は14回実施しました。今月中旬には神奈川県箱根町で第15回目の合宿も計画しております。

第14期～15期の活動は、第7次テーマとして「それぞれの人生を振り返ると共に後輩や子供達に残しておきたいことを自由な発想で纏める」と云う命題に取り組みましたが、小泉研究員が「昔私が言ったこと」、佐立研究員が「孫に話す・・戦争の頃の話」、松井研究員が「技術に関して書いておきたいこと」の三篇の論文が纏まりました。これらの論文は既にSEF HPに掲載しております。

第8次テーマは「日本人の心」と云う命題で各自がそれぞれの考え、思いを論文、或いはエッセイに纏めることにしております。期間はほぼ1年間を想定していますので平成29年春頃に完成の予定です。

又、構成員自体も高齢化が進み、心機一転、若返りの必要も感じられるため、新たな研究員の参加も必要です。興味のある方は是非上記コミ研関係者にお申し出下さい。参加をお待ちしております。

SEF サロン 第 96 回案内 **担当理事 白崎善宏**

《 第 96 回案内 》

日時:2016 年 11 月 30 日(水) 18 時 場所:青学会館内アイビーホール 1F「フェリア」

演題 「心肺停止からの生還、その後東京マラソン完走/全国テレビ出演まで」

講師 石田紘三 氏 SEF 監事 元富士電機(株)システム営業本部主幹、オプトメーション(株)常務取締役

講師の方のメッセージです。「古稀の記念にと東京マラソンへの挑戦を計画しました。ところが 72 歳の時、急性心筋梗塞/心肺停止のアクシデントに見舞われこの計画はあきらめざるを得ない状況となりました。しかしその後の訓練で体力も回復し、初志貫徹、東京マラソンを完走し、テレビ出演までしてしまいました。当日のビデオ持参。思いもかけない時に心臓病で倒れた時の初動の大切さ、AED(除細動器)と近代医学の素晴らしさ、仲間の大切さ、日頃の鍛錬の重要性等を痛感しました。心臓病で倒れた70歳を過ぎたお爺さんがマラソンに初挑戦するとのことでテレビ取材を受けた次第です。東京マラソン裏話、テレビ出演までの経緯、心臓蘇生術と AED の実際の使い方、素晴らしい心臓手術の体験等につきお話ししたいと考えています。身近な話ではありますが体験談を話させていただき、皆様の日頃の生活のご参考になればと思う次第です。」大変貴重なお話、皆様是非ご参加ください。

10 月度会員動向

会員入退会	11 月 1 日 会員数
入退会なし	正会員-30 名、準会員-28 名(先月の 29 名は間違い)、賛助会員-2 社